

今号の主な内容

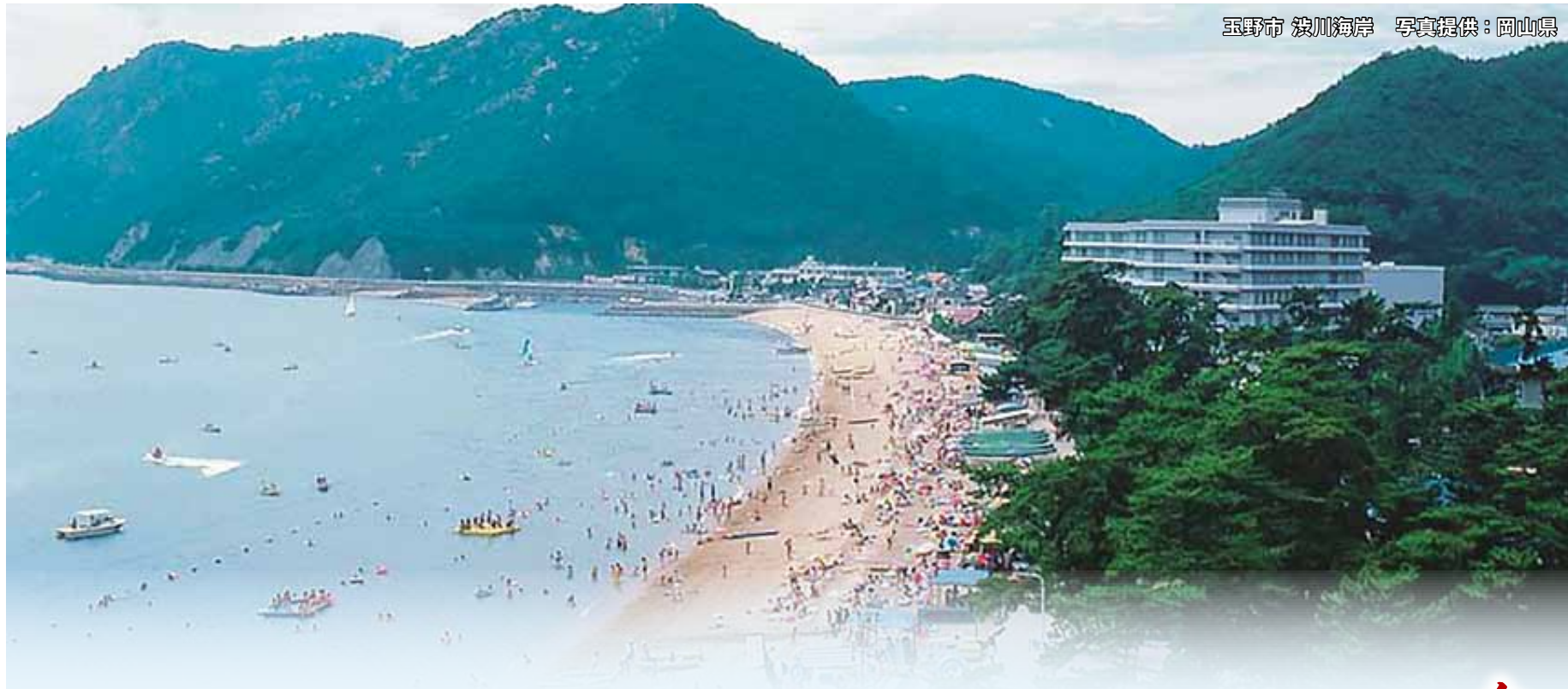
- 12／新役員就任あいさつ
- 34／年度事業計画・収支予算など
- 5／老人福祉大学開講
- 6／県老連女性委員会総会開催
- 7／友愛活動セミナー報告
- 89／県下各クラブの活動紹介
- 10／市町村老連正・副会長会議
- 11／高齢者地域リーダー研修会
- 1213／会員の声



第19号

おかやま県老連だより
(通巻 88号)
平成30年8月号

玉野市 波川海岸 写真提供：岡山県



会長就任にあたって

岡山県老人クラブ連合会

会長 吉田 建太郎



去る6月15日(金)、岡山県老人クラブ連合会において次期会長のご承認を頂きました。身の引き締まる思いが致しております。能力、体力共に微力ではありますが、誠心、誠意頑張っていく所存でございます。よろしくお願い申し上げます。

さて55年の歴史を有する老人クラブの活動は一貫して「健康、友愛、奉仕」であり、これを土台に今日迄数多くの実績を積み重ねて来ました。そしてこれからの超高齢化社会、人口減少等の大きな社会変化に対応して、平成26年から実施されている「100万人会員増強運動」では目標を達成する為、活動の基本理念として「四づくり」(健康、地域、生きがい、友達づくり)を提唱して、新たな仲間への呼びかけを行っております。又平成29年からスタートした各市町村で実施されている総合生活支援事業では「老人クラブ」が積極的に介護予防、生活支援の担い手になる事を大きな目標として活動しております。

地域で、豊かで楽しい生活が続けられる地域」又「高齢者の社会参加による共生社会」の実現に向けて地域に寄与できればと考えております。そして「老人クラブ」のこれからの具体的活動、あるべき姿は総合事業の推進活動の核となる「多様な通いの場づくり」集まりの場づくりの推進と考えております。この「集まりの場づくり」の実現は「老人クラブ」の活性化、魅力へと繋がり、地域交流の「絆」が深まり、今、総合事業の終局の目標となっている「高齢者の健康、生活支援、地域の助け合い、支え合い」の実現に大いに期待される所です。それが結果として「老人クラブの当面する課題である「魅力あるクラブの実現」「会員の増強」を解決する「源」となる事を確信しております。我々はこれから頑張つて「小さなサロンの場」に「集まりの場づくり」にしっかりと挑戦していこうではありませんか…。

謹んで7月豪雨災害のお見舞いを申し上げます

このたびの大雨により被害を受けられた皆様に、心よりお見舞い申し上げます。

一日も早い復旧と、皆様のご健康を心からお祈り申し上げます。

県老連では7月12日(木)緊急に正副会長会議を開き、災害救援拠金に取り組むことを決定し、直ちに県下の所属市町村老連に協力をお願いしました。老人クラブ会員を含む被災者と被災老人クラブの救援に全力で取り組んでまいりますので、元気を出して頑張ってください。

岡山県老人クラブ連合会 役員一同

◆就任あいさつ◆

副会長 繁定 健三



少子高齢化の時代を迎え、家族・住民・行政から私たち高齢者に今、最も期待されることは「健康であること」です。平均寿命が延びる一方、それに並行して健康寿命も延びなければ

なりません。人と人との繋がりを深めることで健康長寿社会が形成されます。又生き甲斐づくり、グラウンド・ゴルフ、友愛活動、健康教室、奉仕作業への参加は〈今日行くところがある〉

ということでも日々の充実感が生まれます。これから会員の皆さまと共に社会貢献できるように頑張ってください、ご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

副会長 安田 泰治



我が国は先進国の中で類を見ない速さで少子高齢化が進み、人口減少社会に入っています。このような状況の中で我々高齢者が地域社会を支える担い手となり、自立と誇りを持つて活動する必要があります。

私たち一人ひとりが生涯の目標を持ち「健康・友愛・奉仕」の気持ちで活動を開し、次世代の育成、安心・安全な町づくりなど幅広い活動に取り組むことで豊かな長寿社会の実現を目指したいものです。

今までに培ってきた経験、知識を活かしあい、尊重しながら、子供や孫に誇れる社会にバトンタッチできるような地域を築いていくではありませんか。

副会長 高橋 重逸



この度のこの役目を引き受ける事となり改めてその任務について考えました。少子高齢化は世界史に例をみないほどの急速な進行です。今こそ老人クラブの活動が求められるのではな

いでしょうか。あらゆる地域でクラブが作られ、生き生きと「健康・友愛・社会奉仕」の活動が行われている社会を実現する事。この事こそ日本社会の更なる成熟社会への発展

を保障する道ではないでしょうか。会員増強をわが地域で実現する事。これこそ任務と考え努力します。ご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。

副会長 女性委員長 延原 愛子



この度、再度、副会長・女性委員長に命ぜられました。五年計画で、会員加入増強運動が展開されています。各市町村クラブをはじめ、単位クラブで、自然減

となつてはおりますが、本年度は五年目に当たりますので、最後まで加入促進に力を入れ取り組んでまいりましょう。

それには、日常生活が制限されることなく過ごせる期間を示す健康寿命が大切です。延伸に心がけ、元気な高齢者として、地域で共に頑張りたいと思います。これからも、会員皆様のご指導とご協力をどうぞよろしくお願い致します。

県老連役員 伊原本知事へ就任あいさつ



7月5日(木)、梅雨前線の影響で雨が降り続く日となりましたが、岡山県老連の新・旧会長と新副会長で、岡山県の伊原本知事および佐藤・宮地両副知事に就任あいさつに出向きました。知事は笑顔で迎えてくださり、席に着いて懇談しました。開口一番、知事から、「教育」(今日行くところがある)と「教養」(今日用事がある)の話が持ち出されました。そして、高齢者にそうした場を提供している老人クラブ活動への期待を述べられ、頑張ってください、との激励の言葉をいただきました。



平成30年度事業計画・収支予算 決まる

平成30年3月16日（金）、
きらめきプラザにおいて開
催された岡山県老連 理事
会・評議員会において、平
成30年度事業計画と収支予
算が承認されました。

平成30年度事業計画概要

◆重点目標

- 1 仲間を広げる加入促進運
動の推進と魅力あるクラ
ブづくり
- 2 会員の生活を豊かにする
取り組み（健康づくり）
- 3 地域を豊かにする取り組
み（友愛活動）

◆事業計画

- 1 第43次岡山県老人福祉大
学の開催
会場 岡山 倉敷（2回）
津山 高梁
受講生募集 1,420名
テーマ ◇健康づくり
◇老後の雑学 ◇音楽
◇健康づくり・介護予防
◇大道芸（笑いと健康）

- 2 健康づくり推進委員会の
開催（年1回）

- 3 健康づくり・介護予防事業
・事業報告会の開催（年
1回）
・全老連健康づくり中央
セミナーへの派遣（2名）

- 4 地区別スポーツ大会の開催
実施地区 備前 備中
美作
1種目7万円で2種目まで

- 5 次世代育成支援事業
・次世代育成支援リー
ダー養成講習会の開催
（年1回）

- 6 在宅福祉を支える友愛活動
・友愛活動セミナー派遣
（2名）
・地域の元気づくり事業
（友愛活動） 5箇所
1箇所当たり10万円以内

- 7 高齢者の安全・安心を支
える活動

- 8 高齢者の交通安全対策
・特殊詐欺・悪質商法な
ど防犯安全対策

- 9 老人クラブ指導者の育成
・高齢者地域リーダー研
修会の開催
会場 6会場（岡山、
倉敷、津山、高
梁、東備、美作）

- 10 老人クラブリーダー中
央セミナー派遣（2名）
・第47回全国老人クラブ
大会派遣（沖縄県宜野
湾市）
・地区別女性リーダー研
修会の開催
実施地区（備前、備中、
美作）

- 11 第30回女性リーダーセ
ミナー派遣（2名）

- 12 第55回岡山県老人クラブ
大会の開催（岡山県総合
福祉大会）
第1部 岡山県知事表
彰・保健福祉部長表彰・
県老連会長表彰
第2部 講演
・会員加入促進事業
・会員加入促進委員会の
開催（若手委員会と合
同開催）

- 13 「2万5千人会員増強
運動」の推進（平成26
～30年度の5年間）
・会員加入促進モデル単
位クラブ表彰
表彰
・全老連会長表彰（育成
功労・優良クラブ等）
・活動賞（健康づくり・
ボランティア・その他）

平成30年5月30日（水）、
きらめきプラザにおいて開
催された岡山県老連30年度

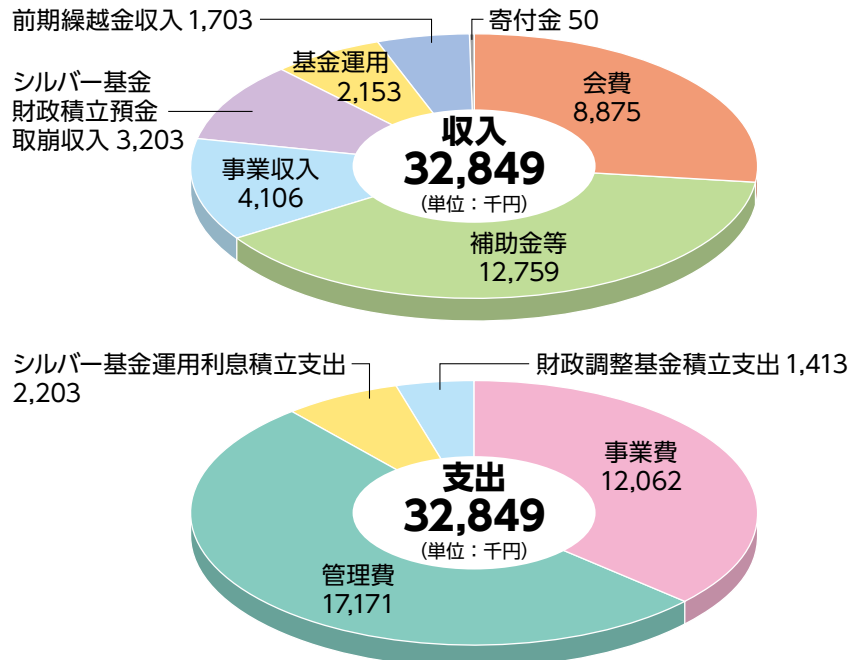
第1回理事会において、「平
成29年度事業報告及び収支
決算」が承認されました。

また、6月15日（金）に開
催された定時評議員会で
も、この事業報告及び収支

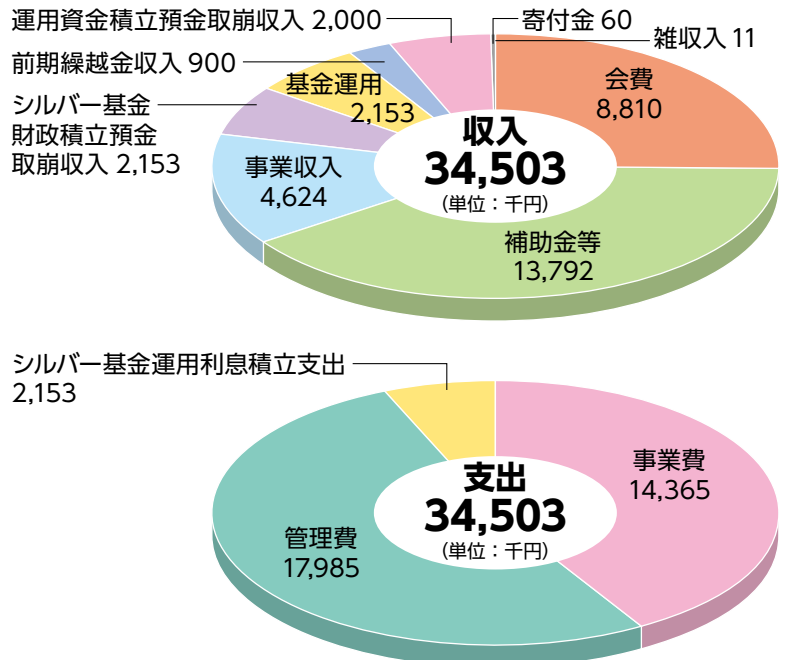
決算が承認されました。決
算額については下の円グラ
フのとおりです。

平成29年度事業報告・決算 承認される

■ 平成 29 年度決算報告 ■



■ 平成 30 年度予算 ■



岡山県老連 平成30年度新役員 決まる

今年度は理事の改選期でした。平成30年5月30日（水）に開催された第1回理事会において、各市町村老連から推薦のあった理事候補者と、辞任に伴い各市町村老連から推薦のあった監事及び評議員候補者が承認され、6月15日（金）に開催された定時評議員会において、候補者全員が新理事・監事・評議員としてそれぞれ選任されました。（左の名簿のとおり）

なお、選任後新理事により開催された平成30年度第2回理事会において、次のとおり新役員が選定されました。

- 会長（代表理事）
吉田 建太郎
（瀬戸内市老連顧問）

■副会長（備前地区代表）
繁定 健三
（赤磐市老連会長）

■副会長（美作地区代表）
高橋 重逸
（津山市老連会長）

■副会長（女性代表）
延原 愛子
（美咲町老連女性部長）

■常務理事（業務執行理事）
杉 潔
（会長推薦）
- 副会長（備中地区代表）
安田 泰治
（倉敷市老連会長）

◎（ ）内は平成30年8月1日現在の役職を記載

岡山県老連 平成30年度新理事・監事・評議員

※が新しく就任された方です。

理事

◆備前地区

玉野市 城戸 清宏※
瀬戸内市 吉田健太郎
赤磐市 繁定 健三※
女性代表 小山 国枝

◆備中地区

倉敷市 安田 泰治
〃 中山 康※

◆美作地区

総社市 岡 弘
高梁市 太田 聖眼
浅口市 鈴木 孝※
女性代表 植田 洋子※
津山市 高橋 重逸※
真庭市 田中 仁志※

監事

◆会長推薦

美作市 谷口 亘
鏡野町 安藤 美雄
女性代表 延原 愛子

杉 潔

◆備前地区

和気町 畑上 毅

◆備中地区

倉敷市 川口 孝志※

◆美作地区

津山市 長船 弘良※

◆会長推薦

滝川 誠一

評議員

◆備前地区

玉野市 香川 崇二※
備前市 寺見 史朗
瀬戸内市 中尾 博延

赤磐市 小坂 通夫

和気町 頼正 康生

吉備中央町 土井二六敏

◆備中地区

倉敷市 山下 成久

〃 浅野 裕司※

〃 野田 俊明※

〃 三木 雅江

笠岡市 平野 勲

井原市 藤原 清和

総社市 関口 昇

◆美作地区

高梁市 森下 昌昭
新見市 大本 一巳※
浅口市 西牧 隆※

早島町 薦田紀久男

里庄町 平野 楨吉※

矢掛町 日置 彰雄

津山市 小野 恭三※

真庭市 澤本 晴祝※

美作市 福田 隆雄※

新庄村 酒井 正博

鏡野町 藤本 信男

勝央町 青井 壽一※

奈義町 元番 實

西粟倉村 金子 稔

美咲町 岡部真三郎

久米南町 磯山 守



平成
30
年度

老人福祉大学 開講される



今年度の老人福祉大学が始まりました。岡山市老連との共催です。会場について、岡山会場は、昨年度の天神山文化プラザから、岡山市立市民文化ホールに移しました。倉敷会場は、申込多数につき昨年度と同様に2回に分けて実施とし、高梁・津山会場は例年通りとしたところです。



今年度の講義のテーマは次の通りです。

●健康づくり

「老人クラブでみんな元気に楽しくにぎやかに」
motto ひょうご
事務局長 栗木 剛氏

●老後の雑学

「毎日が生放送
『笑顔2割増しのヒント』」
RSKラジオパーソナリティ
滝沢 忠孝氏

●音楽

「楽しく、笑って
歌を歌いましょう」
KIZUNA（絆）
十川 知子氏
國本 卓明氏

●健康づくり・介護予防

岡山会場・津山会場・
高梁会場

「加齢なる人生、皆で
華麗にご一緒しま専科
『老イノミクス戦略』」
日本赤十字社岡山県支部
井上 美咲子氏

●倉敷会場①・②

「よりよい高齢期を
迎えるために
『健康寿命を
延ばしましょう』」
岡山赤十字病院
本莊 晶子氏

●大道芸

「大道芸で笑って健康に」
大道芸人 田久 朋寛氏
(たつきゆうさん)

これから11月までそれぞれの会場において順次開催していきます。受講申し込みをされている方は、奨励賞、栄誉賞を目指し頑張ってください。

※お断わりです。7月豪雨により県内で甚大な被害が発生したことから、7月の老人福祉大学の一部会場について開催の延期を決定しました。対象となる受講者の方には、電話やはがきで連絡させていただきましたが、ご迷惑をおかけしましたことお詫びいたします。



県老連女性委員会 第34回総会開催

平成30年6月27日(水)

きらめきプラザにおいて女性委員会第34回総会が開催されました。

まず、この度の役員改選により就任した吉田県老連会長、延原県老連副会長(規定により女性委員長に就任)より開会のあいさつがありました。吉田会長は、平成26年度から5か年計画で取り組んでいる「2万5千人会員増強運動」と新地域支援事業の取り組みに対して、女性委員としても格別の取り組みをお願いしたいとあいさつされました。延原委員長は、委員長2期目を迎えるが、皆さんの支援、協力をいただきながら期待に応えられるよう引き続き頑張りたいと抱負を述べられました。

続いて延原委員長の進行で協議に入り、まず、委員の互選により副委員長と幹事が選出されました。次に事務局より30年度の県老連事業方針について報告があり、続いて平成30年度女性委員会活動計画が協議の末了承され、全員で力を合わせて取り組むことになりました。

新役員

委員長	美咲町	延原 愛子		
副委員長	玉野市	香川 八重子	倉敷市	植田 洋子
幹事	備前地区		備中地区	
	備前市	金藤 節子	総社市	徳永 たま江
	瀬戸内市	小山 国枝	新見市	谷村 悦子
	赤磐市	堀木 千代子	里庄町	井植 初代
	和気町	小田 昭美	矢掛町	川上 孝子
			美作地区	
			津山市	佐々木 由恵
			真庭市	間久保 靖子
			美作市	岩崎 満里
			鏡野町	杉田 登詠子

平成30年度 女性委員会活動計画概要

★総会

年2回開催
(6月、3月)

★幹事会

年1回開催
(9月27日(木))

★主な事業

1. 地区別女性リーダー研修会

県下3地区(備前、備中、美作)で実施する。研修日程・内容はそれぞれの地区で協議し決定する。

2. 高齢者地域リーダー研修会

積極的に参加する。
開催時期…
7月上旬～10月上旬
開催場所…
岡山・倉敷・津山・高梁・東備・美作

3. 2万5千人会員増強運動

行政、社協、町内会に協力・支援を要請する

とともに女性委員のパワーを発揮して会員増強につなげる。

4. 次世代育成支援リーダー養成講習会

女性委員会を中心とした女性組織の活性化の取り組みとして、高齢者がこれまでに培ってきた経験や知識、生活文化(昔遊び)等を通じて子育て支援活動を行うため、次世代育成支援リーダー養成を行う。(来年3月予定)
講師等は事務局に一任された。

5. 全老連第30回女性リーダーセミナーへの参加

開催時期…
10月11日(木)～12日(金)

開催場所…
東京都・全社協議室

参加者…

延原愛子委員長、
植田洋子副委員長

新地域支援事業の

今後の取り組み方

「第23回「在宅福祉を支える友愛活動」セミナーに参加して」

全老連が主催して「新地域支援事業」の学習、取り組み状況、現状把握、今後の取り組み方等の検討を目的とした「友愛活動セミナー」が全国48老連から101名の参加者を集めて実施されました。

第1日目

基調報告

「老人クラブの全国運動・行動提案について」

全老連事務局長

谷野 香氏

これからの老人クラブは何をすべきかについて、社会情勢を踏まえて話があり、現状の大きな課題である会員増強運動、高齢消費者被害防止キャンペーンの推進は当然であるが、さらに「新地域支援事業」への参画、また、その取り組みが大きな課題となってきたこととした。その取り組みの重要ポイントは行政、地域関係団体に向けての提案、要望、協議の積極行動である事を強調されました。

行政報告

「介護保険制度をめぐる施策の方向と老人クラブへの期待について」

厚生労働省
老健局振興課課長補佐
愛甲 健氏

介護保険制度の仕組み、取

巻き状況、概況について行政の立場からきめ細かい解説がありました。この制度を踏まえ今後少子高齢の進展に伴い、多様な主体による多様な生活支援サービスの提供がますます大事な事となってきました。従って老人クラブ(高齢者)には生活支援サービス

の提供、生活支援体制整備事業の実践に向けて大きな期待がされている事を力説されました。

事例発表

1. 「二戸市老連における新地域支援事業の取り組み」
岩手県

2. 「川越市老連における友愛活動モデル事業への取り組みについて」
埼玉県

川越市老人クラブ連合会

新地域支援事業に積極的に取り組み、その取り組み方が評価された代表二事例の発表がありました。この二事例に共通して言える事は行政への事業参画の強い熱意と要望、

第2日目

講演

「新地域支援事業における老人クラブへの期待」

(二財)医療経済研究・

社会保険福祉協会

医療経済研究機構

研究員兼研究総務部次長

服部 真治氏

要介護認定者はこの15年間で2・79倍となっているが、このうち軽度(要支援1・2)の認定者数が大幅な増加となつています。このような背景の中、高齢者の社会参加の促進による介護事業が大きな柱となつてきています。そして生活支援、介護予防サービスの充実と高齢者の社会参加の実現が大いに期待されるところであります。また地域住民参加によるネットワークの

参画への具体的な提案が推進成功のポイントであったのではないかと考えられます。下欄はその仕組みの概要です。

分散会・全体会

出席者を17グループに分け、約1時間、お互いの事業への取り組み状況を発表、意見交換を行いました。色々な考え、取り組みを聞くことができました。大変勉強になりました。

まとめ

全老連常務理事

齊藤 秀樹氏

今回のセミナーは新地域支援事業(介護予防・日常生活総合事業)を中心に実施されましたが、これからの社会情勢の変化の中、多様なサービス(多様な支援)の重要性を認識、併せて老人クラブの「友愛活動」の現状を考える機会としてもらいたいとの事でした。また事業の推進には、行政、協議体との連携が必要で

す。自治体ごとに取り組み方、スピード感の違い、クラブへの期待や関心も違い、また老人クラブの実力にも違いがありますが、住み慣れた地域、在宅で安心して暮らす為に、我々にとって、今何ができるのか問われており、しっか

生活支援・介護予防サービスの充実と高齢者の社会参加

- 単身世帯等が増加し、支援を必要とする程度の高齢者が増加する中、生活支援の必要性が増加。ボランティア、NPO、民間企業、協同組合等の多様な主体が生活支援・介護予防サービスを提供することが必要。
- 高齢者の介護予防が求められているが、社会参加・社会的役割を持つことが生きがいや介護予防につながる。
- 多様な生活支援・介護予防サービスが利用できるような地域づくりを市町村が支援することについて、制度的な位置づけの強化を図る。具体的には、生活支援・介護予防サービスの充実に向けて、ボランティア等の生活支援の担い手の養成・発掘等の地域資源の開発やそのネットワーク化などを行う「生活支援コーディネーター(地域支え合い推進員)」の配置などについて、介護保険法の地域支援事業に位置づける。



厚生労働省資料より抜粋



感想

この二日間のセミナーで「地域支援事業」の全貌、内容、またこれからの取り組みへのヒントが良く理解できました。今後の指導に活かしたいと考えています。

【参考資料】老人クラブの取り組み状況・活動事例(抜粋)

■新地域支援事業における市町村老連の参加状況

単位：老連(平成29年11月作成)

都道府県 指定都市 老連	第1層協議体へ		A 事業参加				B 検討中	C 実施して いない	D 行政がまだ実施 していない	市町村 老連数
	参加	予定	事業参加	予定	行政、NPO 事業参加	予定				
合計 (市町村実施率)	436	265	73	19	153	101	369 21.6%	784 45.8%	164 9.6%	1,710 100%
	701 41.0%		92 5.4%		254 14.9%					

■新地域支援事業における市町村老連の事業参加の内訳

単位：老連(平成29年11月作成)

	老人クラブの事業として参加(運営)								行政、社協、NPOの事業参加(協力)							
	実施 老連数	事業数	差異	生活 支援	通い の場	健康 づくり	その他	未記入	実施 老連数	事業数	差異	生活 支援	通い の場	健康 づくり	その他	未記入
老連数	73	76 100%	3	13 17%	23 30%	22 29%	13 17%	5 7%	153	159 100%	6	19 12%	50 31%	32 20%	16 10%	43 27%

全国老人クラブ連合会資料より抜粋

新見市

老人クラブが目指す 元気な仲間と地域づくりの活動

長屋長寿会 副会長 小林 志恵子

長屋は全体が6区画に分れた、小さな農業中心の集落です。1人2人の老人家庭も、年々増加の目立つ今日このごろに成りました、現在の会員人数は約80名あまりで、会が存続し、推移しています。

私が長寿会に入会して、10年ほどになります。6、7年前の事、ある老人クラブ連合会の大会に参加をする機会があり、元気とやる気をもらいました。本長寿会も、なんとかないだろうかなーと思えて来ました。高齢者の、{元気、やる気、助け合い、健康な体と心} などなど、沢山もちあわせておられる、そんな思いになり、気づかされた大会でした。

しかし一方では、家の中で一人寂しくテレビを見るだけ、いやテレビを見られる人は、まだ良い方かもしれません。

現在長屋長寿会は、これまで取り組んできた「友愛活動」家から足を一歩踏み出そう、地区民どうしの声掛け、助け合い、友達づくり、挑戦してみようの気持ちになり、元気で集える協力態勢の輪となった気がしているように思えます。健康で元気な明るい高齢者の増える事を願いつつ感謝 (私自身も高齢者です) 助け合いのありがたさを一番感じています。

しかし、考えていかなければいけない事も沢山あるようにも思えます。一人々の老人会員の皆様が、自分らしさを発揮して生きがいのもてる会、一歩々あゆむ事のできる会でありたいものです。

無理の無い[参加して良かった]の声を聞く事のできる会になることを願います。



とびっこす Topics

県下各クラブの活動紹介



久米南町

三世代で七夕祭り

久米南町老人クラブ連合会 竜山地区老人クラブ 会長 園田 良美

竜山地区福祉のまちづくり推進協議会では、毎年7月下旬に「三世代料理教室と七夕祭り」を開催しています。

竜山地区老人クラブは、この協議会の役員として、毎年上粕、中粕、下粕、別所の4地区の単位クラブ会員が参加しています。

当日は、栄養委員や愛育委員が中心となり、三世代が昼食や七夕だんご作りを行った後、老人クラブが中心となり七夕飾りを作ります。孫のような世代の子ども達と一緒に、2メートル余りの竹笹に、色紙で作った飾りやそれぞれの願いごとを書いた短冊、大判の和紙で作った1メートルの長さの紙の網などをこよりで結わえて飾り付けます。また、各家庭の畑で収穫した少し変形したナスやキュウリ、じゃがいもなどを動物の身体に見立て、割り箸や楊枝で手足を付けた動物を作ります。お盆に作る馬、牛などの由来を子ども達に教えながら作っていきりますが、発想が自由な子ども達は、怪獣やアニメのヒーローなどを作って楽しんでいました。1日だけの飾りで惜しいです。

その後、昼食をはさみ様々なアトラクションを楽しんで閉会します。昨年度は警察官の方による交通安全に関するお話しや、シャボン玉飛ばしを楽しみました。

この催しは今年で13回目を迎えます。竜山地区でも少子高齢化が深刻ですが、近年若い世代の移住者が増えてきており、世代を超えての七夕祭りが長続きする希望の光であってほしいものです。



西栗倉村

私達の小さな村 みんなで守ろう！

私達の西栗倉村は、岡山県の北東に位置し鳥取県と兵庫県の県境にある小さな村です。約 95 パーセントが山林におおわれています。奥まった所には、手つかずの自然豊かな若杉原生林があります。途中には大茅スキー場もあり、冬にはスキーヤーでにぎわっています。平成の大合併がありましたが、私達の村は合併しないで頑張っています。私達老人クラブ連合会も高齢化が進み、会員数も減少しつつあります。

総会の中で「会員増員の声かけ運動をしよう」という事で役員一丸となって募集をしたところ、徐々に増員の成果が出てきているところで、ありがたいことです。

村内には、12 の地区がありますが、



西栗倉村老人クラブ連合会 会長 金子 稔



全ての地区でサロン活動を行っています。「赤ちゃんからお年寄りまで」のスローガンのもとサロン活動を活発にしております。大茅地区は、サロン活動として、芝桜の植え付けに取り組んでおり見事な芝桜公園になり、今年は特に村内外から、大勢の見物客でとてもにぎわいました。又、坂根地区サロンとしては、子ども達と一緒に自治会の皆様と合同で桜祭りを楽しみました。6 月には、農休みの行事として、鳥取方面へ親睦会と称して昼食とカラオケ、買い物等をし、一日を満喫して来る予定です。各地区サロン勉強会としては、毎月 1 回、それぞれに自分達に合ったことを計画され、囲碁ボール、県民局熊講座、環境美化活動、茶話会、小旅行、料理等に楽しく取り組んでいます。又、今年は「地域の元気づくり事業」の一環として「れんげの種まき」をします。もうひとつは「地域の子供達とのふれあい交流」として「椎茸菌の植え付け」をします。収穫は数年後になりそうですが、その時には子供達と一緒に椎茸をかこんで食事会をしようと思っています。これは子供達にとっても良い体験になると思います。

今後も地域の子供達との交流と魅力ある村づくりを会員全員で頑張っていきたいと考えております。

新庄村

『村民一家族の村』新庄村での世代交流

新庄村老人クラブ連合会 会長 本田 誠

新庄村は、人口約 950 人、390 世帯の小さな村です。高齢化率は約 42% で、保育園児 26 名、小学生 42 名、中学生 19 名と子ども達は貴重な存在であり、村の“宝”です。

連合会では、村内にある保育園・小学校・中学校それぞれの学校行事として、毎年交流事業を行っています。

保育園児との交流事業は、女性部が中心となり、園児と共にさつまいもづくりをします。子ども達の作業に手を添えながら苗植・収穫・クッキングを通じて、植物の生きる力、収穫することの喜びを子ども達に伝えます。

小学生との交流は、低学年児童と共に運動会で玉入競技を行います。このことによりクラブ員の運動会参加者数も増え、「まだまだ小学生には負けてられない。」と意欲的です。

中学生との交流事業は、「グラウンド・ゴルフを楽しむ集い」として実施しています。2 学期の中間テスト最終日、全ての試験が終わり、過酷な試験勉強から解放された中学生がイキイキとした表情でやってきます。「僕もおじいちゃんになったら、グラウンド・ゴルフをやりたい。」と、高齢者の生きがい活動を共に楽しんでくれています。

これらの活動を通じて思いやりやいたわりの心を育て、「村民一家族の村」の“宝”の健やかな成長を願いながら、老人クラブ員が力を合わせて育んでいます。



平成29年度市町村老連正・副会長会議

平成29年度市町村老連正・副会長会議が平成30年2月15日（木）～16（金）瀬戸内市邑久町虫明の「岡山いこいの村」で開催されました。

参加市町村老連は21老連で、残念ながら全市町村老連参加とはなりませんでしたが、総勢67名という大人数での宿泊研修となりました。

県老連藤本会長の「この会議はこれからの進むべき方向を語り合う集いです。一同に会する年1回の会議であり、実り多い会議になることを期待しています」とのあいさつで開会しました。

行政説明、グループ討議、懇親会、講演等を通じて多くの、そして有意義な懇親が図られたものと思います。平成30年度もこの場所で実施する計画ですので、全市町村老連が参加し、活発な協議がなされることを楽しみにしています。



第1日目

〈12時00分〉

受付

〈13時00分〉

開会

挨拶 県老連 藤本会長

〈13時20分〉

平成30年度事業方針・計画・重点目標と事業実施に当たつての留意点等について事務局から説明

〈14時20分〉

行政説明

「岡山県の高齢者施策」について

岡山県長寿社会課

河内総括副参事

岡山県の高齢者施策及び予算について概略を説明していただきました。

〈15時30分〉

グループ討議

テーマ…「未設置や解散地域への新設クラブ設立」の取り組みについて

議論を深めるため、①クラブ未設置や解散地域への取り組み状況、②取り組んだことによる効果、③会員獲得に向けての若手・女性会員の活用状況の3点について、あらかじめアンケートをお願いしました。3グループに分かれ討議しましたが、

第2日目

〈8時30分〉

老人クラブの歌、生き生きクラブ体操で元気に2日目が始まりました。

〈8時40分〉

講演②

「防災力の中心は地域の高齢者」

東備消防組合 消防本部 消防長 緑川 久雄氏

災害発生時の死亡者の特徴と課題などについて、東日本大震災などを例に説明され、同じ災害環境で犠牲にならないためには日常的に機能する地域のコミュニティが最も重要であると話をされました。

〈9時50分〉

講演③

「高齢者の特殊詐欺被害防止について」

岡山県警察本部

生活安全部

犯罪抑止対策室長

橋野 正明氏

「高齢者の交通事故防止について」

岡山県警察本部 交通部

交通企画課 課長補佐

大場 優香氏

特殊詐欺の被害や交通事故にあわないためにはどういうことに気を付け



ればいいのかなどについて、分かりやすく説明していただきました。

〈11時00分〉

全体会

①グループ討議の報告

3グループの代表から前日の討議結果について報告していただきました。

②事例発表

和気町老連の若手委員、真庭市老連の女性委員から短時間でしが加入促進の取組状況を発表していただきました。

③全体討議・質疑

最後に全体討議・質疑応答を行いました。

〈12時00分〉

閉会

県老連延原副会長の「この会議の成果持ち帰り、地元老連の活動に生かしていただきたい」とのあいさつで、2日間の日程を無事に終了し散会しました。

高齢者地域リーダー研修会 始まる



今年度の研修会講師については、岡山県南部健康づくりセンター 運動指導員

初回の東備会場では、和気町「尺所シルバースターズ」の小高郷近会長と赤磐市「山陽支部（山陽3丁目）」の湯浅完治会長に発表していただき、その後参加者間で情報交換を行いました。

講義に加え、昨年度初めて単位クラブ等から事例発表を行っていただきましたが、参加者の皆さんのアンケート調査結果によっても、他のクラブがどのような活動しているのか参考になったとのご意見をいただき、大変好評であったことから、今年度も事例発表を行っていただくことになっています。事例発表のテーマは、2万5千人会員増強運動の最終年度でもあることから「会員増を目指して取り組んだ活動について」としており、各会場とも2事例の発表を行っていただき、事例発表後は小グループに分かれて情報交換を行い、自分たちのクラブ活動の参考にさせていただく計画です。

今年度も7月6日（金）東備会場を皮切りに「平成30年度高齢者地域リーダー研修会」が始まりました。これまでと同様に岡山市老連との共催により開催しています。

地区	期 日	場 所
東 備	7月 6日(金)	くまやまふれあいセンター
岡 山	7月23日(月)	きらめきプラザ
津 山	8月24日(金)	津山市総合福祉会館
高 梁	8月30日(木)	高梁総合文化会館
美 作	9月14日(金)	湯郷地域交流センター
倉 敷	10月 2日(火)	くらしき健康福祉プラザ

※東備会場は雨が心配の中での開催となりましたが、無事に研修会を終了することができました。参加者の皆さんご苦労様でした。

の森下明恵先生にお願いしており「いつでもできる！かんたん体操」と題して講演をいただくことにしています。実技を取り入れた講演で、東備会場では腰痛、転倒防止の体操などに参加者全員汗を流して取り組んだところでした。

老人クラブ活動を続ける上でリーダーの役割は大変重要です。参加者の皆さんにはこの研修会を契機としてそれぞれの地域でリーダーとして大いに活躍されることを期待しています。魅力ある楽しいクラブを目指してみんなで取り組んでいきましょう。

会員の声

挑戦

赤磐市老人クラブ連合会
山陽支部

湯浅 完治 76歳



平成14年12月現役を退き年金生活に入った。今日まで16年色々なボランティアをやってきた。現役の頃、単身赴任が多く、娘2人が今日まで元気に成長し、孫達にも恵まれた生活が送れるのも、地域の皆様の温かい見守りがあったればこそとの深い思いがあり、少しでも其のお返しが出来ればとボランティアをやってきた。先輩たちと同じく現役を退けば町内会の役員、老人会の入会、幼稚園の昔遊びの指導、小学校の児童の登下校の見守り、市役所の清掃ボランティア、周辺道路に花を咲かす会……特に町内会長時代に痛感



した、地域の親睦の場作りを、との思いからボランティアを募り、集会所で「誰でも喫茶」と銘打って毎月最終金曜日に喫茶店を開いている。これも長く続いている。写真や書道作品、手芸品を飾り賑やかだ。

又老人会でもありきたりの借りてきた遊具でなく、一工夫を加えて皆で自前の道具を作ることを提案し、毎月第3水曜日に色々楽しんで貰っている。特に老人会については毎月A4用紙の表裏に原稿を

書き新聞を発行している。原稿を書くためには本屋の立ち読みも忙しい。最近、カレンダーが行事の書き込みで一杯になり、月日のたつのがとても早く感じられる。でも其のおかげで元気に過ごせていると感謝している。

この年になつたら好きな物を食べて、好きな事をし、使った勉強会や遊び体操はゴメンだと言う声をよく聞く。しかし、そうした生活が結果的に認知症等の病気が結果的に認知症等の病気が結果的に認知症等の病気

「生きずびぜん体操」で地域貢献を...

備前市老人クラブ連合会

伊部南シニア会

副会長 永井 登 71歳



定年を間近にして最愛の妻に先立たれ一時は途方に暮れた日々もありましたが、何とか立ち直り68歳でサラリーマン生活に終止符を打つことができました。それまで仕事一筋で楽しめと言え「観世流謡曲」を嗜むぐらゐの生活から、毎日が日曜日という未知の生活へ突入。リタイア後は趣味や旅行三昧の生活を夢見てゆつくりとセカンドライフを楽しもうと考えていたが、独り身での生活は空しくこれといった張り合いも無いまま閉じこもりがちな毎日が続き、一時は好きなお酒を飲み過ぎて体を壊してしまいました。

古稀を迎え老後の生活と体力の衰えに不安を感じ、介護施設への入所も考えてみようと思前市地域包括支援センターに相談したところ「まだまだ元気な体を生かして、少し地域に飛び出してみたら」とのアドバイスを受け、備前市が進め



ているシニア層向けの「生きずびぜん体操」リーダー養成講座を受講。講習終了後、請われるままに地域サロンでの体操普及活動やデイサービスのボランティアに出向くことで新たな触れ合いが生まれ、その間に関わった方々から感謝の言葉を頂くことになりました。こうした切っ掛けを作っていたいた保健師さんに感謝しながら、現在は伊部片口団地のシニア世代を中心とした健康教室(片口はんなりサロン)の体操リーダーとして活動、グラウンド・ゴルフ同好会にも参加させていただき充実した毎日を送っています。

齢を重ねてくると新しいことを始めるには少し勇気がいります。反面、挑戦することで新たな喜びも生まれます。思い切つて飛び込んで地域の方々との関わりを得ながら、体操を通じてアクティブシニアならではの素敵な老いを体現できればと願っております。

ふるさとの青面金剛

矢掛町老人クラブ連合会
きび協和会

会長 木村 勉 69 歳



老人クラブ活動に参加するようになり、この地域が古くから栄えていたことや、暮らしていた人々の生活の一端などを垣間見ることができました。

年に一度の奉仕作業で神社の草刈り作業を行っていた時、境内の隅に塀で囲まれた石仏を発見しました。詳しく知りたいと思い、刻まれている石仏を調べてみると「青面金剛」であることが分かりました。青面金剛は現在では信仰対象としてあまり知られてなく、平安時代に「庚申待」として貴族の信仰であったものが武家に伝わり、その後一般庶民にも広まったが、大正期以降急速にその信仰は失われたとのことでした。

ここで庚申待とはどのような信仰であったのか更に調べてみると、当時の人の生活が現在とは大きく違っていたことが分かってきました。現在では体に不調があれば病院で診察を受け、

処置等をしていただきますが、当時の人たちは神仏を信仰することで長寿を願っていたと思います。

ご存知の方も多いかと思いますが、庚申待とは、人の体には三戸の虫がいて、

いつもその人の悪事を監視し、庚申の日の夜に寝ると三戸の虫は天に登って「閻魔大王」に日頃の行いを報告し、罪状により寿命を縮め、その人の死後に地獄・

餓鬼・畜生の三悪道に墮としたりすると言われていたので、三戸の虫が天に登れないように、この夜は村人たちが集まって神を祀り、

寝ずに酒盛りなどをして夜を明かしたという習俗のことでした。

本尊は青面金剛および帝釈天、神道では猿田彦

神でした。

庚申の日は六十日ごとに訪れます。ちなみに原稿を書いている今日、庚申の日であります。でも私はこのあたりで寝ます。おやすみなさい。

さて、今晚、三戸の虫は「閻魔大王」に私をどう報告するのやら。

健康長寿を願って

倉敷市児島地区老人クラブ連合会 編集委員

山坂 敏美 67 歳

定年を迎えてから 7 年が



過ぎました。勤めているときは、地域のことはなかなか関わる事ができませんでした。仕事を辞めたら、少しは地域に恩返しをしなければと地域貢献を考えていました。そうしたとき、

愛育委員を引き受けてほしいと声がかかり、地元の人とかかわる機会ができました。何をするのかもわからずに 1 年が過ぎましたが、

会長を引き受けることになり、唐琴のみならず、児島地区全体の会議にも出る機会をいただき、今では、たくさんの方との出会いにとっても感謝しています。

また、長年、詩吟を習っていますが、その先輩が老人クラブで活躍されてお

り、老連会報「きらり輝くシニアくらしき」の編集委

員をしてほしいと依頼されました。まだ老人クラブには入りたくないと思いましたが、いつも無理を聞いてもらっている先輩に断り切れなくて引き受けてしまいました。でも、この編集委員

会も、市老連の行事や各地区の活動状況などを投稿されている会員さんの声が聞けて楽しくもあり、脳の活性化にもなっています。

こうして、多くの人と関わる中で、皆さんに支えられ、また私にできることをさせていただいています。

夫曰く「今日は、どこも行くのか?」、家でゆっくりしているこんな言葉が返ってきます。人とかかわりを大切にし、できる間はボランティアも続けていきたいと思っています。

今は、家事もしっかりやっていますが、最近ふと思うことがあります。例えば、当たり前のことですが、

料理、洗濯、掃除など、どれをとっても頭を使い、体を動かしています。仕事で 1 日中椅子に座っていることと比べれば、身体的にも精神的にも健康的だと思います。家事は一生していか

なければなりません。家事を、大変だと考えるのではなく、健康で長生きするために無理な負担をかけない

ように頑張っていくことも健康寿命を延ばす秘訣ではないかと思っています。

情報交差点

岡山県警察 暮らしの安全情報

マナーアップで
交通事故防止!

～ゆずる・とまる・まもる～

ゆずろう!

「思いやり」「ゆすり合い」の気持ちで
横断者・他車両に進路を「ゆずる!」



とまろう!

一時停止・赤信号・横断歩道等で
「とまってゆずる!」



まもろう!

速度・合図等を「まもる!」
信号や道路の横断方法を「まもる!」
夜光反射材を身につけ「身をまもる!」



目指せ日本一! 交通マナーアップ

サーカスがやってきた 4年ぶり地元岡山公演



6月9日(土)世界に誇る木下大サーカスの
初日オープニングショーに岡山県老人クラ
ブ連合会も招かれ、藤本 毅会長、岡 弘副
会長が出席いたしました。山陽新聞社創立
140周年記念並びに社会福祉事業協賛とし
て開催される世界最大級のサーカスの3か
月間長期公演です。

県下の老人クラブを通じて、会員の皆様
にもご案内・ご招待・割引などのご配慮をい
ただいております。どうぞこの機会に2,000
人収容の赤いテントに展開する数々の演技・
動物の曲芸などスリルと迫力満点のショー
を団体、家族連れでぜひご参観ください。
会場：天満屋ハピータウン岡南店 特設会場
岡山市南区築港栄町5-12

(岡山県老連 事務局)

私たちは岡山県老人クラブ連合会の活動を応援しています。

私たちは岡山県老人クラブ連合会の活動を応援しています。

老人クラブ会員向けに 3つの保険で安心補償

回 覧

		1	2	3
		傷害保険 24時間型	傷害保険 活動型	賠償責任保険
補償範囲	ご自身のケガの補償	クラブ活動中 活動中以外		
	相手の物・ケガの補償	クラブ活動中 活動中以外		
加入資格		会 員 ク ラ ブ		

注1：保険担当者を通じての加入となります。
注2：クラブ全会員での加入が条件となります。

1 傷害保険 24時間型

2 傷害保険 活動型

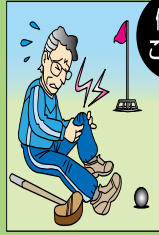
3 賠償責任保険

自分がケガをした時の保険です。
〈病気および他人に与えたケガは対象外です。〉

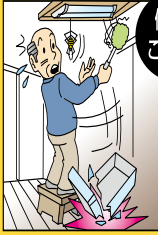
他人の物を壊したり、ケガをさせた時の保険です。
〈自分のケガは、対象になりません。〉



例えばこんな時
買物の帰りにちょっとした段差につまづき、転んでケガをしてしまった。
クラブ活動中だけでなく日常生活のケガも補償します。



例えばこんな時
クラブ活動でグラウンドゴルフの試合中に転んで膝を捻挫してしまった。
クラブ活動中とその往復途上のケガを補償します。



例えばこんな時
公民館の清掃中、玄関の電灯交換中に誤って、電灯カバーを壊してしまった。



例えばこんな時
クラブ活動のボール体操で、相手の顔にボールをぶつけてしまい眼鏡が壊れて顔にケガをさせてしまった。

対 象：老人クラブ会員に限りです。年齢制限はなく、いつでも加入できます。（1人1口加入）
ただし、加入手続きは所属老人クラブの保険担当者に取りまとめる団体傷害保険です。

補償範囲：「24時間型（掛金3タイプ）」と「活動型（掛金3タイプ）」

掛 金：〈24時間型〉お一人掛金年額 10,000円、5,000円、3,500円
〈活動型〉お一人掛金年額 2,000円、1,000円、500円

補償の詳細は、裏面をご確認ください。

補償内容：死亡・後遺障害保険金（後遺障害保険金はクラブ活動中のみ）／
入院保険金／手術保険金／通院保険金

保険期間：掛金払込み日の翌月1日から1年間

傷害保険
加入者特典

デイリーサポート
電話相談

● 介護関連サービス ⇒ 介護保険制度、ケアプラン等の介護全般に関わる相談
● 生活支援関連サービス ⇒ 法律、税務、社会保険、暮らしのご相談

※相談先の電話番号は「おぼえがきメモ」に記載されています。

対 象：単位老人クラブ（全会員加入）

掛 金：クラブの全会員数×100円（30名未満の場合は最低引受保険料3,000円）

補償範囲：○老人クラブ活動中の対人・対物（損壊）の損害補償（自動車等の所有・使用・管理に起因する事故は、対象外）
○管理下財物（注）の盗難・紛失等（注）は裏面をご確認ください。
○初期対応費用・訴訟対応費用特約：支払限度額500万円（1事故）付帯
但し、往復途上の事故およびご自身のケガは対象になりません。

支払限度額：1億円（詳細は裏面をご確認ください）

※お支払いされる保険金は、事故の損害額や賠償責任割合に基づき、保険会社が査定いたします。

保険期間：毎年10月1日から1年間

申込方法：毎年9月15日までに賠償保険専用の掛金払込用紙（払込取扱票）で掛金を払込みください。
加入時に会員名簿の提出は必要ありません。（裏面の引受条件をご確認ください。）

中途加入

「中途加入」および「加入クラブにおける会員の追加加入」は可能です。
・「中途加入」：毎月15日までに掛金の払込で翌月1日からの加入となります。
但し、保険期間は加入月の1日から直近の10月1日までとなります。
・「加入クラブにおける会員追加加入」：届出および掛金は加入年に限り不要です。



公益財団法人 全国老人クラブ連合会

保険係

お問い合わせ
ご相談

先 03-3597-8770

受付時間 9:30から17:00まで（土、日、祝祭日、年末年始休）

ホームページ <http://www.senior-ltd.com/> 老人クラブ傷害保険 検索 メールアドレス hoken@senior-ltd.com

〒100-8822 東京都千代田区霞が関3丁目6-14 三久ビル1階102号

加入申込書等、資料請求先

専用FAX 03-3597-8767

（取扱代理店）有限会社 シニアサービス社 TEL.03-3597-8768 〈引受幹事保険会社〉東京海上日動火災保険株式会社（担当課）医療・福祉法人部 法人第二課 TEL.03-3515-4144

18-T00539 平成30年4月作成

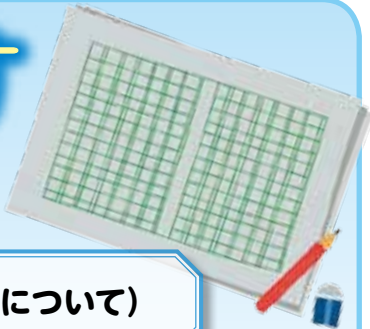
5

私たちは岡山県老人クラブ連合会の活動を応援しています。



皆様の作品を募集いたします

岡山県老人クラブ連合会では、次号 89 号より紙面のリニューアルに伴い、皆様の作品を次の通り募集いたします。



- ◆ 俳句 ◆ 短歌 ◆ 絵手紙 ◆ 投稿文（身近な出来事、趣味などについて）

- 投稿は未発表のものを一人 1 点でお願いします。
- クラブ名・住所・氏名・電話番号を必ずご記入ください。
- 編集にあたり、文章の若干の添削をすること、また応募数が多数の場合は事務局により選考させていただく場合があることをご了承ください。

応募締切日 平成 30 年 10 月 15 日（月）

県老連等の行事予定

平成 31 年	8 月 7 日（火） 8 日（水）	第 36 回都道府県・指定都市 老人クラブリーダー中央セミナー	東京都 全社協会議室
	10 月 11 日（木）	平成 30 年度 岡山県総合社会福祉大会	岡山市民会館
	10 月 11 日（木） 12 日（金）	第 30 回女性リーダーセミナー	東京都 全社協会議室
	10 月 22 日（月） 23 日（火）	中国・四国ブロックリーダー研修会	鳥取県米子市
	12 月 4 日（火） 5 日（水）	第 47 回全国老人クラブ大会	沖縄県 宜野湾市
	1 月 30 日（水） 31 日（木）	第 24 回在宅福祉を支える 友愛活動セミナー	東京都 全社協会議室

平成 30 年度（第 43 次）岡山県老人福祉大学 9 月からの日程

	岡 山	倉敷①	倉敷②	津 山	高 梁
	岡山市立市民文化ホール	くらしき健康福祉プラザ		津山市総合福祉会館	高梁文化交流館
9 月	3 日（月）	11 日（火）	20 日（木）	25 日（火）	6 日（木） 19 日（水）
10 月	25 日（木）	18 日（木）	23 日（火）	16 日（火）	5 日（金）
11 月	29 日（木）	13 日（火）	20 日（火）	1 日（木）	7 日（水）

※日程は講師の都合により変更することがあります。
※9 月の高梁会場は 7 月の大雨による延期の為、2 回開催いたします。

編集後記

この県老連だよりの発行に向けて掲載記事を取りまとめていた最中に悲しく、むごい出来事が発生しました。7 月豪雨災害です。県西部地域を中心に、とりわけ倉敷市真備町では複数の河川が決壊し甚大な被害を引き起こしました。県内で 60 名を超える方々が亡くなれましたが、その 80% を超える方々は 65 歳以上の高齢者です。県老連としては他人ごとではなく、直ちに被災地の高齢者や老人クラブの支援に取り組むこととしました。今一度、各地域の老人クラブでも地域の防災情報、避難場所、避難情報への対応など、会員みんなで確認するようにしてください。また町内会等と情報を共有されるようお願いします。今年は猛暑が続いています。体調管理には十分に気を付けてください。

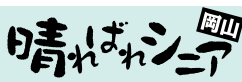


老人クラブとは

老人クラブは、おおむね 60 歳以上の高齢者が地域で自主的に参加しているクラブです。市町村の老人クラブを県老連でとりまとめています。高齢者の経験、知識を生かし、地域社会に貢献するとともに、生きがいと健康づくりのために相互に支え合うことを目的として運営されています。

岡 山 県

■会 員 数
144,969 人
■クラブ数
2,613 クラブ
（平成 30 年 3 月末現在）



（発行部数：50,000 部）

発行：（公財）岡山県老人クラブ連合会
〒700-0807 岡山市北区南方 2 丁目 13 番 1 号
岡山県総合福祉・ボランティア・NPO 会館
（きらめきプラザ内）
TEL (086) 226-2877 FAX (086) 226-2881
企画・印刷：昭和印刷株式会社
岡山市南区豊成 3-1-27 TEL (086) 264-6110